

タイトル	小林真之教授 献辞 略歴・著作目録等
著者	森下, 宏美; MORISHITA, Hiromi
引用	季刊北海学園大学経済論集, 61(4): -
発行日	2014-03-30



小林真之教授

献 辞

経済学会長 森 下 宏 美
経済学部長

本学経済学部および経済学会は、本年3月に定年退職される小林真之教授のご功績を讃え、これまでに賜ったご指導とご厚誼に対する感謝の気持ちとともに、『経済論集』第61巻第4号を先生のご退職記念号として献呈いたします。

小林先生は、1974年4月に本学経済学部には講師としてご着任され、爾来40年にわたって教育・研究に携わり、本学の発展に貢献されました。先生は、学部においては金融経済論を、また大学院においては金融政策特殊講義、金融政策特殊研究をご担当され、数多くの学生、院生を育てられました。また、図書館長（2002～2006年）、経済学部長（2008～2010年）、経済学研究科長（2011～2014年）の要職を務められ、本学および本学部の教育・研究の発展に多大なるご貢献をされました。

先生のご研究は、20世紀前半のアメリカ証券・金融市場を主たる素材としながら、現代の金融経済に関わる諸現象に類似した展開を過去の歴史の中に見出し、その実証的分析を通じて、現代の事象の解明につながる含意を導き出すという明確な方法に貫かれております。先生は、1960年代の「不換銀行券論争」に触発され、管理通貨制度のもとでの実質的物価変動を根拠づける資本主義の運動メカニズムの解明に関心を寄せてこられました。「信用貨幣の通貨価値は景気変動による資本の価値破壊を通じて維持される」とする観点から、アメリカの大恐慌を歴史的研究素材とし、実物資産と金融資産の両側面における価値破壊の実態解明にあたられてきました。『株式恐慌とアメリカ証券市場』（北海道大学図書刊行会、1998年）、『金融システムと信用恐慌』（日本経済評論社、2000年）、『アメリカ銀行恐慌と預金者保護政策』（北海道大学出版会、2010年）の先生の代表的なご著作は、いずれもこの問題関心に沿って執筆されたものであり、現代の金融経済を理解するための助けとなる多くの貴重な知見を提供されております。さらに、先生の研究活動は、著書・論文の執筆にとどまらず、日本金融学会、信用理論研究会、証券経済学会で常任理事・理事を務められるなど、全国的な研究組織の運営・発展にも大きくご貢献されました。

また先生は、赴任された直後から北海学園大学グリークラブの顧問に就かれ、60年余に及ぶグリークラブの歴史の3分の2を見守ってこられました。長い歴史の中には大きな困難もあったと伺っておりますが、団員たちと苦楽を共にし、今日まで伝統を引き継いでこられたお姿に、先生の人間味豊かなお人柄を感じております。そのお人柄に間近に接することができなくなることに、とても寂しい思いがいたします。

今、大学を取りまく環境は大きく変化し、時代の新たな要請に応えるべく、教育改革への努力が求められております。教育と研究に注がれた先生の情熱，そして学生に対する厳しくも温かい先生のまなざしを思い起こしつつ，私たちは経済学部の新たな歴史を築くために，日々努力してまいります。今後ともご指導，ご鞭撻，よろしくお願い申し上げます。

最後に，先生のますますのご健勝をお祈り申し上げて，献辞といたします。

小林真之教授 略歴・著作目録等

1. 学 歴

昭和 40 年 3 月 北海道立旭川東高等学校卒業
 昭和 40 年 4 月 北海道大学教養課程文類入学
 昭和 42 年 9 月 北海道大学経済学部進学
 昭和 44 年 3 月 北海道大学経済学部卒業
 昭和 44 年 4 月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程入学
 昭和 46 年 3 月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程修了
 昭和 46 年 4 月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程入学
 昭和 49 年 3 月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得修了

2. 職 歴

昭和 49 年 4 月 北海学園大学経済学部講師
 昭和 50 年 4 月 北海学園大学経済学部助教授
 昭和 60 年 4 月 北海学園大学経済学部教授
 昭和 60 年 4 月 北海学園大学大学院経済学研究科（修士課程）担当
 平成 2 年 4 月～平成 3 年 9 月
 米国ペンシルバニア大学客員研究員
 平成 15 年 4 月 北海学園大学大学院経済学研究科（博士課程）担当

3. 学 会

昭和 49 年 4 月～ 日本金融学会
 昭和 49 年 4 月～ 信用理論研究学会
 昭和 51 年 6 月～ 証券経済学会

4. 学 内 活 動

平成 14 年 4 月～平成 18 年 3 月 図書館長
 平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月 経済学部長
 平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月 経済学研究科長

5. 学 位

昭和 44 年 3 月 経済学士（北海道大学）
 昭和 46 年 3 月 経済学修士（北海道大学）
 平成 12 年 3 月 博士（経済学）（北海道大学）

6. 研究業績

〈著書〉

- ・昭和53年3月 共著『信用と外国為替』（ミネルヴァ書房）
- ・昭和58年10月 共著『金融資本論研究』（北海道大学図書刊行会）
- ・平成4年4月 共著『比較金融史研究—英米独仏の通貨金融機構 1870～1914年—』
(ミネルヴァ書房)
- ・平成7年6月 共著『揺れ動く現代世界の経済政策』（日本経済評論社）
- ・平成10年2月 単著『株式恐慌とアメリカ証券市場
—両大戦間期の「バブル」の形成と崩壊—』（北海道大学図書刊行会）
- ・平成12年9月 単著『金融システムと信用恐慌—信用秩序の維持とセーフティ・ネット—』
(日本経済評論社)
- ・平成15年2月 共著『現代の金融と地域経済』（新評論）
- ・平成16年12月 共著『現代金融論』（有斐閣）
- ・平成18年1月 共著『現代金融と信用理論』（大月書店）
- ・平成21年2月 単著『アメリカ銀行恐慌と預金者保護政策
—1930年代における商業銀行の再編—』（北海道大学出版会）

〈論文〉

- | | | |
|-----------|--|-------------------------|
| ・昭和48年11月 | 1929年世界市場恐慌と本位貨恐慌
—第一次大戦の経済的意義の解明のために— | 北海道大学『経済学研究』
第23巻第3号 |
| ・昭和49年9月 | オーバーローンとインフレーション
—三宅・磯村両説の検討を中心として— | 北海学園大学『経済論集』
第22巻第2号 |
| ・昭和51年3月 | 原始的購買手段説と信用創造
—川合教授の信用理論の一検討— | 北海学園大学『経済論集』
第23巻第4号 |
| ・昭和52年7月 | 銀行恐慌と救済融資（1）
—アメリカにおける1930～33年銀行恐慌と関連して— | 北海学園大学『経済論集』
第25巻第1号 |
| ・昭和52年10月 | 銀行恐慌と救済融資（2）
—アメリカにおける1930～33年銀行恐慌と関連して— | 北海学園大学『経済論集』
第25巻第2号 |
| ・昭和52年9月 | 兌換制下の救済融資について | 金融学会『金融学会報告』
第44号 |
| ・昭和53年3月 | アメリカにおける1933年信用恐慌
—その性格規定をめぐって— | 北海道大学『経済学研究』
第28巻第1号 |
| ・昭和53年3月 | 物価変動の理論 | 前掲書『信用と外国為替』
第1章所収 |
| ・昭和56年3月 | 1929年恐慌における現実資本の価値破壊
について
—アメリカにおける独占企業を中心として— | 北海学園大学『経済論集』
第28巻第4号 |

- ・平成 1 年 8 月 優先株と資本構造の再編 (1)
—1930 年代のアメリカ独占企業と擬制資本—
 - ・平成 1 年 10 月 優先株と資本構造の再編 (2)
—1930 年代のアメリカ独占企業と擬制資本—
 - ・平成 4 年 4 月 米国における資本市場の発展
 - ・平成 5 年 5 月 大恐慌期におけるアメリカ独占資本主義と
擬制資本
 - ・平成 5 年 5 月 1920 年代末の株式ブームとアメリカ金融
市場 (1)
 - ・平成 5 年 9 月 1920 年代末の株式ブームとアメリカ金融
市場 (2)
 - ・平成 6 年 3 月 「過大」資本化と資本の水抜き
—1887~1929 年のアメリカ産業大企業—
 - ・平成 6 年 12 月 1929 年大恐慌と減資政策
—アメリカ大企業と擬制資本の動態 (1)
 - ・平成 7 年 6 月 自由化と動揺する信用秩序
 - ・平成 7 年 7 月 1929 年大恐慌と減資政策
—アメリカ大企業と擬制資本の動態— (2)
 - ・平成 7 年 11 月 利子生み資本と株式市場
—金融市場論への一視点—
 - ・平成 8 年 12 月 大恐慌期のアメリカ株式市場
 - ・平成 9 年 1 月 決済システムと近代銀行業
 - ・平成 9 年 5 月 株式擬制資本と金融市場
 - ・平成 9 年 12 月 アメリカ証券市場と銀行制度
—ニューヨーク証券市場と地方証券市場—
 - ・平成 10 年 3 月 信託会社の破綻と 1907 年恐慌
—20 世紀初頭のアメリカ金融市場—
 - ・平成 11 年 9 月 米商業銀行と預金保護政策
—1920 年代の銀行破産と預金者・株主
 - ・平成 11 年 10 月 擬制資本と信用恐慌
 - ・平成 11 年 12 月 銀行合併と株主資本 (1)
 - ・平成 12 年 3 月 銀行合併と株主資本 (2)
- 北海学園大学『経済論集』
第 37 巻第 1 号
北海学園大学『経済論集』
第 37 巻第 2 号
前掲『比較金融史研究』
第 10 章所収
信用理論研究会
『信用理論研究』第 10 号
北海学園大学『経済論集』
第 41 巻第 1 号
北海学園大学『経済論集』
第 41 巻第 2 号
北海学園大学『経済論集』
第 41 巻第 4 号
北海学園大学『経済論集』
第 42 巻第 3 号
前掲書『揺れ動く現代世界
の経済政策』第 4 章所収
北海学園大学『経済論集』
第 43 巻第 1 号
北海学園大学『経済論集』
第 43 巻第 3 号
北海学園大学『経済論集』
第 44 巻第 3 号
札幌学院大学『商経論集』
第 13 巻第 3 号
信用理論研究会
『信用理論研究』第 15 号
北海学園大学『経済論集』
第 45 巻第 3 号
北海学園大学『経済論集』
第 45 巻第 4 号
北海学園大学『経済論集』
第 47 巻第 2 号
信用理論研究会
『信用理論研究』第 17 号
北海学園大学『経済論集』
第 47 巻第 3 号
北海学園大学『経済論集』
第 47 巻第 4 号

- ・平成12年5月 両大戦間期のアメリカ普通株市場 証券経済学会『証券経済学
一株価動向を中心に— 会年報』第35号
- ・平成12年8月 米商業銀行の現代の変貌 龍谷大学『経営学論集』
—規制再編下の商業銀行— 第40巻第2号
- ・平成13年3月 銀行恐慌と預金者 北海学園大学『経済論集』
第48巻第3・4号
- ・平成13年6月 銀行再編と公的資金(1) 北海学園大学『経済論集』
第49巻第1号
- ・平成13年12月 銀行再編と公的資金(2) 北海学園大学『経済論集』
第49巻第3号
- ・平成14年12月 不良債権と公的資金(上) 北海学園大学『経済論集』
第50巻第3号
- ・平成15年2月 成長通貨の供給と金融仲介 下平尾勲編『現代の金融と
地域経済』第2章所収
- ・平成15年5月 銀行合併と株主資本 証券経済学会『証券経済学
会年報』第38号
- ・平成16年3月 不良債権と公的資金(中) 北海学園大学『経済論集』
第51巻第3・4号
- ・平成16年12月 景気変動と金融活動 川波・上川編『現代金融
論』第6章所収
- ・平成17年3月 不良債権と公的資金(下) 北海学園大学
『経済論集』第52巻第4号
- ・平成18年1月 金融恐慌と信用秩序維持政策 信用理論研究学会編
『現代金融と信用理論』
第6章第4節所収
- ・平成18年3月 連邦預金保険制度と銀行破綻処理政策 北海学園大学『経済論集』
—1934~40年における連邦預金保険公社の経験(1)— 第54巻第1号
- ・平成18年12月 連邦預金保険制度と銀行破綻処理政策 北海学園大学『経済論集』
—1934~40年における連邦預金保険公社の経験(2)— 第54巻第3号
- ・平成22年12月 信用恐慌と金融危機対策 信用理論研究学会
—1930年代と現代の比較考察— 『信用理論研究』第28号
- ・平成23年6月 合衆国における貯蓄金融機関 北海学園大学『経済論集』
第59巻第1号
- ・平成24年3月 1929年大恐慌と貯蓄金融機関(1) 北海学園大学『経済論集』
第60巻第3号
- ・平成25年3月 両大戦間期のアメリカ投資信託 北海学園大学『経済論集』
第60巻第4号
- ・平成25年9月 大恐慌期における投資信託業界の再編(1) 北海学園大学『経済論集』
第61巻第2号

- ・平成 25 年 12 月 大恐慌期における投資信託業界の再編（2） 北海学園大学『経済論集』
第 61 巻第 3 号

〈書評論文〉

- ・平成 8 年 8 月 川波洋一著『貨幣資本と現実資本』 北海学園大学『経済論集』
（有斐閣，1996 年 11 月） 第 44 巻第 1 号
- ・平成 10 年 3 月 坂本正著『金融革新の源流』 北海学園大学『経済論集』
（文真堂，1997 年） 第 45 巻第 4 号
- ・平成 10 年 10 月 須藤功著『アメリカ巨大企業体制の成立と銀行』 日本金融学会
（名古屋大学出版会，1997 年） 『金融経済研究』第 15 号